

東海北陸厚生局長 殿

愛知医科大学病院
病院長 野浪 敏

愛知医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	174人
--------	------

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	430人	106人	449.7人	看 護 補 助 者	9人	診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	0人
歯 科 医 師	14人	17人	15.2人	理 学 療 法 士	25人	臨 床 検 査 技 師	68人
薬 剤 師	65人	2人	66.4人	作 業 療 法 士	8人	衛 生 検 査 技 師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視 能 訓 練 士	5人	そ の 他	0人
助 産 師	20人	1人	20.8人	義 肢 装 具 士	0人	あ ん 摩 マ ッ サ ー ジ 指 圧 師	0人
看 護 師	905人	22人	919.0人	臨 床 工 学 士	16人	医 療 社 会 事 業 従 事 者	6人
准 看 護 師	6人	0人	6.0人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	39人
歯 科 衛 生 士	2人	1人	2.8人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	76人
管 理 栄 養 士	12人	0人	12.0人	診 療 放 射 線 技 師	51人	そ の 他 の 職 員	30人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たりの平均入院患者数	686.5人	7.2人	693.7人
1日当たりの平均外来患者数	2,008.0人	72.9人	2,080.9人
1日当たりの平均調剤数			3,123.0剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	85人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	117人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	210人	・原発性胆汁性肝硬変	1人
・全身性エリテマトーデス	1354人	・重症急性膵炎	37人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	64人
・再生不良性貧血	55人	・混合性結合組織病	64人
・サルコイドーシス	732人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	24人	・特発性間質性肺炎	75人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	476人	・網膜色素変性症	80人
・特発性血小板減少性紫斑病	255人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	40人	・肺動脈性肺高血圧症	4人
・潰瘍性大腸炎	277人	・神経線維腫症	61人
・大動脈炎症候群	39人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ピュルガー病	58人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	67人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	2人
・脊髄小脳変性症	57人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・クローン病	96人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	8人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	56人
・悪性関節リウマチ	15人	・脊髄性筋萎縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患	538人	・球脊髄性筋萎縮症	6人
・アミロイドーシス	66人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	11人
・後縦靭帯骨化症	239人	・肥大型心筋症	111人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	45人	・ミトコンドリア病	10人
・ウェゲナー肉芽腫症	752人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	16人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	10人
・多系統萎縮症	7人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害	63人
(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。		合計	6322人

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	機能性ディスプレイに対する六君子湯の有効性・安全性の科学的エビデンスを創出するための二重盲検無作為化プラセボ対照比較試験	春日井邦夫	消化器内科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
2	大腸癌における上皮細胞増殖因子関連新規分子標的遺伝子の機能解析	小笠原尚高	消化器内科	1,430,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
3	厚生労働省科学研究費 難治性疾患克服事業 びまん性肺疾患調査研究班「サルコイドーシス患者血清中の新規自己抗体の検索」	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科	400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
4	厚生労働省科学研究費 難治性疾患克服事業 びまん性肺疾患調査研究班「自己免疫性肺蛋白症の長期経過や治療と血清抗GM-CSF IgG抗体濃度との関連」	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
5	進行再発肺腺癌におけるゲフィチニブとエルロチニブのランダム化第Ⅲ相試験	久保昭仁	呼吸器・アレルギー内科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
6	人工多能性幹細胞由来神経細胞による糖尿病性多発神経障害の細胞移植療法の検討	中村 二郎	糖尿病内科	910,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
7	遺伝子型に基づくカルバマゼピンのオーダーメイド投薬の検証に関する前向き臨床研究	兼本 浩祐	精神神経科	1,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 独立行政法人理化学研究所
8	小児造血器腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究	鶴澤正仁	小児科	200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
9	難治性小児がんに対する組織的・包括的取り組みに基づく臨床的特性に関する分子情報の体系的解析と、その知見を活用した診断・治療法の開発	鶴澤正仁	小児科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
10	小児白血病の原因究明に向けた基盤的研究	鶴澤正仁	小児科	150,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
11	小児急性白血病における微小残存病変測定法の確立と臨床応用に関する研究	鶴澤正仁	小児科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
12	モノクローナル抗体をもちいたアスパラギナーゼ感受性腫瘍の検索	鬼頭敏幸	小児科	5,460,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 科学研究費補助金
13	LCHにおける免疫染色によるAsparagine synthetase発現の検討	鬼頭敏幸	小児科	450,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 NPO法人LCH研究会 経済産業省
14	川崎病における血中PTX3複合体の同定	鬼頭敏幸	小児科	1,700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 一般財団法人東海産業技術振興財団
15	川崎病の冠動脈病変の発症・悪化を予測する新規マーカー分子測定系の確立に関する研究	鬼頭敏幸	小児科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
18	磁気ナビゲーションシステムを用いた乳癌画像診断法の確率MRIとUS画像の融合-	中野正吾	乳腺・内分泌外科	130,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
19	乳癌組織におけるSHAP-HA複合体による酸化ストレス防御機構の解明	藤井公人	乳腺・内分泌外科	2,730,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
20	磁気ナビゲーションシステムによる画像融合技術を用いた乳腺超音波装置の開発	吉田美和	乳腺・内分泌外科	4,420,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
21	難治性脊髄疾患の分子生物学的解析、発症関連因子の検索	若尾典充	脊椎脊髄センター	300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 Nagoya Spine Group
22	遺伝子移入骨髄幹細胞とコンドロイチナーゼABCを利用した哺乳動物脊髄再生	若尾典充	脊椎脊髄センター	200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 科学研究費補助金
23	強直性脊椎骨増殖症(ASH)の骨代謝メカニズムの網羅的解析	若尾典充	脊椎脊髄センター	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 AO Spine Japan
24	脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究	高安正和	脳神経外科	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省研究費補助金(こころの健康科学研究事業)
25	特発性発汗異常症・色素異常症の病態解析と新規治療薬開発に向けた戦略的研究	渡辺大輔	皮膚科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働科学研究費
26	特発性発汗異常症・色素異常症の病態解析と新規治療薬開発に向けた戦略的研究	玉田康彦	皮膚科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働科学研究費
27	妊娠高血圧症候群における酸化ストレスと胎児発育障害との関連性の検討	若槻明彦	産科婦人科	1,900,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 公益財団法人日母おぎやー献金基金
28	心拍変動解析を用いた高齢者の術後回復度評価	藤原祥裕	麻酔科学	300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 国立長寿医療研究センター
29	長期記憶形成におけるアストロサイト代謝の役割と麻酔薬作用の分子科学的機序の解明	木下浩之	麻酔科学	2,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
30	敗血症病態による頻脈性不整脈におけるmicro-RNAの影響についての研究	畠山 登	周術期集中治療部	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
31	敗血症病態がペースメーカー細胞に及ぼす影響-遺伝子による不整脈治療戦略の構築-	畠山 登	周術期集中治療部	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
32	豊かな環境における中枢神経新生を介した慢性疼痛に対する治療戦略	畠山 登	周術期集中治療部	130,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
33	救急医療情報システムの関する運用状況等に関する研究	野口 宏	救命救急科	120,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
34	救急救命士の処置範囲に係る研究	中川 隆	救命救急科	0 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省
35	肥満残存高血圧合併睡眠時無呼吸患者に対する防風通聖散及び大柴胡湯の治療効果の比較と病態生理の解明	塩見利明	睡眠科	150,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 厚生労働省

36	慢性活動性EBV感染症(CAEBV)を背景に有するEBV関連T/NK細胞リンパ腫とCAEBVを背景に有さないEBV関連T/NK細胞リンパ腫の臨床病理学的検討	高橋恵美子	病院病理部	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	愛恵会
37	モノクローナル抗体をもちいたアスパラギナーゼ感受性腫瘍の検索	加藤栄史	輸血部	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	科学研究費助成事業
38	悪性リンパ腫細胞を保持するniche(ニッチ)は、どのように形成されるか	中山享之	輸血部	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	佐川がん研究振興財団
39	悪性リンパ腫細胞を保持するniche(ニッチ)は、どのように形成されるか	中山享之	輸血部	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本白血病研究基金
40	血液悪性腫瘍幹細胞-ニッチを破壊させるFGF2の創薬を目標とした最小活性部位同定	中山享之	輸血部	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	科学研究費助成事業

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

発表等の実績

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所属部門
1	電子情報通信学会医用画像研究技術報告 111(389); 305-10, 2012	ヘシアンフィルタを用いた内視鏡画像からのポリープ自動検出	春日井邦夫	消化器内科(消化管部門)
2	Medical Science Digest 38(12); 523-525, 2012	【機能的消化管障害の診断と治療】NERDの病態	春日井邦夫	消化器内科(消化管部門)
3	日消誌 110(2); 32-40, 2013	逆流性食道炎初期治療に対するエソメプラゾールの有効性の検討 -オメプラゾールを対照とした無作為化二重盲検比較試験-	春日井邦夫	消化器内科(消化管部門)
4	Diabetes Obes Metab 14(4); 379-82, 2012	Effects of transglucosidase on diabetes, cardiovascular risk factors and hepatic biomarkers in patients with type 2 diabetes: a 12-week, randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	Sasaki M	消化器内科(消化管部門)
5	J Neurol; 259: 1734-1735, 2012.	Neurological deficits in a patient with selenium deficiency due to long-term total parenteral nutrition.	Sasaki M	消化器内科(消化管部門)
6	Ulcer Research 39(2); 168-171, 2012	ジクロフェナクによる小腸粘膜傷害に対する予防	佐々木誠人	消化器内科(消化管部門)
7	日本臨牀 70(1); 266-269, 2012	炎症性腸疾患の検査・診断 高齢者炎症性腸疾患の臨床的特徴	佐々木誠人	消化器内科(消化管部門)
8	Journal of the Chinese Medical Association 76 (2013, March) 131-134	Comparison of the effect of a single dose of omeprazole or lansoprazole on intragastric pH in Japanese participants: A two-way crossover study	Funaki Y	消化器内科(消化管部門)
9	World J Gastroenterol 18(39); 5576-80, 2012	Inhibition of gastric perception of mild distention by omeprazole in volunteers.	Iida, A	消化器内科(消化管部門)
10	Case Rep Gastroenterol. 6(2); 23-27, 2012	Gossypiboma mimicking gastrointestinal stromal tumor causing intestinal obstruction: a case report.	Kawamura Y	消化器内科(消化管部門)
11	World J Gastroenterol 18(41); 5940-7, 2012	Efficacy of endoluminal gastroplication in Japanese patients with proton pump inhibitor-resistant, non-erosive esophagitis.	Tokudome, K.	消化器内科(消化管部門)
12	Hepatogastroenterology 59; 353-356, 2012	Endoscopic Submucosal Dissection with Sheath-Assisted Counter Traction Using a Novel Sheath for Early Gastric Cancers	Hijkata Y	消化器内科(消化管部門)
13	Dig Endosc. 2013 Jan 25.	Edema of the interarytenoid mucosa seen on endoscopy is related to endoscopic-positive esophagitis (EE) and is an independent predictor of	Kondo Y	消化器内科(消化管部門)
14	Gastroenterological Endoscopy 54(3), 466-473,	若年者に発症した石灰乳胆汁による閉塞性黄疸に対し、EPBDが奏功した1例	足立和規	消化器内科(消化管部門)
15	Journal of Cardiology	Prognostic impact of concurrence of metabolic syndrome and chronic kidney disease in patients undergoing coronary intervention: Involvement of coronary plaque composition.	天野哲也	循環器内科
16	Circulation Journal	Clustering of metabolic syndrome components attenuates coronary plaque regression during intensive statin therapy in patients with acute coronary syndrome: the JAPAN-ACS subanalysis	高島浩明	循環器内科
17	European heart Journal Cardiovascular Imaging	Differences in tissue characterization of restenotic neointima between sirolimus-eluting stent and bare-metal stent: integrated backscatter intravascular ultrasound analysis for in-stent restenosis.	安藤博彦	循環器内科
18	Eur Resp J 39(3):777-80, 2012.	Reduced GM-CSF autoantibody in improved lung of autoimmune pulmonary alveolar proteinosis.	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科
19	J Transl Med 10: 111, 2012.	Effects of molecular structural variants on serum Krebs von den Lungen-6 levels in sarcoidosis.	山口悦郎	呼吸器・アレルギー内科
20	Clin Imaging 36, 65-67, 2012	¹⁸ F-Fluorodeoxyglucose uptake and apparent diffusion coefficient in lung schwannoma.	久保昭仁	呼吸器・アレルギー内科
21	J Thorac Oncol 7, 1722-7, 2012	Epidermal growth factor receptor (EGFR) tyrosine kinase inhibitors beyond progressive disease: A retrospective analysis for Japanese patients with activating EGFR mutations.	久保昭仁	呼吸器・アレルギー内科
22	Exp Ther Med 4, 785-789. 2012.	Polymorphisms in intron 1 of the EGFR gene in non-small cell lung cancer patients.	久保昭仁	呼吸器・アレルギー内科

23	岐阜県医師会医学雑誌 2012;25:3-6.	日常診療に診る間脳下垂体機能障害.	大竹千生	内分泌・代謝内科
24	Pharma Medica 2012;30(7):171-174.	長期間無治療で経過した下垂体機能低下症を伴うGHDについての検討.	金平知樹	内分泌・代謝内科
25	Fluid Management Renaissance 2012;2(4):73-74.	バソプレシンV1a受容体は出血後の全身高血圧症を介して実験的にも膜下出血後の再出血発生率および予後を決定する.	高木潤子	内分泌・代謝内科
26	Neurobiol Dis 2012; 45: 862-870	Oxidative stress induced by glutathione depletion reproduces pathological modifications of TDP-43 linked to TOD-43 proteinopathies.	Niwa J	神経内科・脳卒中センター
27	臨床神経学 2012; 52: 320-328	愛知県下筋萎縮性側索硬化症患者の在宅療養に関する検討	市川由布子	神経内科・脳卒中センター
28	Neurosci Lett 2012; 519: 67-72	A sodium channel myotonia due to a novel SCN4A mutation accompanied by acquired autoimmune myasthenia gravis.	Fukuoka T	神経内科・脳卒中センター
29	Sci Rep 2012; 2: 573	The potential of GPNMB as novel neuroprotective factor in amyotrophic lateral sclerosis.	Niwa J	神経内科・脳卒中センター
30	臨床神経学 2012; 52: 416-420	結核性髄膜炎との鑑別が問題になった軟髄膜原発悪性リンパ腫と考えられた1例	田口宗太郎	神経内科・脳卒中センター
31	Clin Exp Nephrol 16: 195-201	A treatment dilemma in adult immunoglobulin A nephropathy: what is the appropriate target, preservation of kidney function or induction of clinical	今井裕一	腎臓・リウマチ膠原病内科
32	Amyloid 19(2): 61-65	Differential diagnosis of localized and systemic amyloidosis based on coagulation and fibrinolysis	今井裕一	腎臓・リウマチ膠原病内科
33	Internal Medicine 51: 755-758	Proteinase 3 Anti-Neutrophil Cytoplasmic Antibody(PR3-ANCA) Positive IgG4-Related Retroperitoneal Fibrosis: Utility of PET-CT with F-	今井裕一	腎臓・リウマチ膠原病内科
34	Internal Medicine 51: 2393-2397	Myeloperoxidase Anti-cytoplasmic Antibody Related Crescentic Glomerulonephritis in a Patient with IgG3 λ with Membranous Features	今井裕一	腎臓・リウマチ膠原病内科
35	Amyloid 19(4): 197-200	Systemic AA amyloidosis in a patient with lung metastasis from renal cell carcinoma	今井裕一	腎臓・リウマチ膠原病内科
36	Cancer Res. 2012 Oct 1;72(19):4954-62.	Frequent PVT1 rearrangement and novel chimeric genes PVT1-NBEA and PVT1-WWOX occur in multiple myeloma with 8q24 abnormality.	Hanamura I	血液内科
37	Cancer Sci. 2013 Feb;104(2):165-70.	Arsenic trioxide prevents nitric oxide production in lipopolysaccharide-stimulated RAW 264.7 by inhibiting a TRIF-dependent pathway.	Nitta M	血液内科
38	Cell Transplant: 2012 Oct 8. doi	Transplantation of Neural Crest Like Cells Derived from induced Pluripotent Stem Cells Improves Diabetic Polyneuropathy in Mice.	Jiro Nakamura	糖尿病内科
39	Ther Adv Neurol Disord. 5:321-34,2012	Psychotic illness in patients with epilepsy.	Kanemoto K	精神神経科
40	Epilepsy Behav.25:18-22,2012	Screening for major depressive episodes in Japanese patients with epilepsy: validation and translation of the Japanese version of Neurological Disorders Depression Inventory for Epilepsy (NDDI-E).	Tadokoro Y	精神神経科
41	Curr Pharm Des 2012;18(36):5828-36	Lack of data on depression-like states and antidepressant pharmacotherapy in patients with epilepsy: randomised controlled trials are badly	Kanemoto K	精神神経科
42	精神医学 54:49-51,2012	大麻誘発性精神障害と考えられた1症例.	加藤悦史	精神神経科
43	臨床精神医学 41:1279-1283,2012	【災害と精神医学】放射線被曝と精神障害 広島、長崎の原爆関連研究からの検討.	加藤悦史	精神神経科
44	精神医学 54:513-516,2012	Milnacipranとmirtazapineの併用が効果的であったうつ病の1例.	山下功一	精神神経科
45	精神医学 54:1051-1053,2012	挙児希望による服薬中止で急性精神病状態となった統合失調症の1例.	加藤悦史	精神神経科
46	精神科治療学 27 :244-252,2012	【気分障害の治療ガイドライン新訂版】(第6章)身体疾患と抑うつ 症状性精神病としての抑うつ、心疾患の予後に対する影響.	松原桃代	精神神経科
47	精神医学 54 :1159-1161,2012	抗うつ薬による薬剤性盗汗に対して防己黄耆湯が奏効した1例.	加藤悦史	精神神経科
48	Modern Physician 32:337-340,2012	てんかんに関連する精神症状の治療.	兼本浩祐	精神神経科
49	Schizophrenia Frontier 12:232-236,2012	類てんかん精神病	兼本浩祐	精神神経科

50	図書新聞 (2012.4.7)	文化人類学的アプローチによって、精神科医の行動特性を観察記録しつつ解剖する——癒しのシステムの一翼を担わざるをえず、身体医学から身を引き離すこともできない精神科医の危うさ。	兼本浩祐	精神神経科
51	精神科 21:172-178,2012	【妊娠、出産と向精神薬】 抗てんかん薬。	兼本浩祐	精神神経科
52	精神科 21:146-149,2012	【てんかん診療up-to-date】てんかんの精神症状行動障害。	大島智弘	精神神経科
53	Clinical Neuroscience 30:926-927,2012	【Vision-new perspectives】 てんかんの視覚症状。	兼本浩祐	精神神経科
54	脳21 15:330-334,2012	【新しい抗てんかん薬レベチラセタム】 精神科領域におけるレベチラセタム。	兼本浩祐	精神神経科
55	精神科治療学 27:941-945,2012	【精神疾患の典型例を学ぶ】 転換性障害の典型例。	兼本浩祐	精神神経科
56	こころの科学 164:100-101,2012	誤診をめぐって—身体への留め金。	兼本浩祐	精神神経科
57	臨床精神薬理 15:1117-1124,2012	【各種疾患にみられる抑うつ状態の診断と治療】 てんかんにおける抑うつ状態。	兼本浩祐	精神神経科
58	臨床精神薬理 15:1043-1050,2012	本院におけるうつ病の治療経験について SSRIとSNRIとの比較を中心に。	兼本浩祐	精神神経科
59	Pharma Medica 30:55-60,2012	てんかん治療の課題と新規抗てんかん薬への期待。	兼本浩祐	精神神経科
60	Modern Physician 32:337-340,2012	【知っておきたいてんかん診療】 治療 てんかんに関連する精神障害の治療法。	兼本浩祐	精神神経科
61	てんかんをめぐって 30:23-25,2012	てんかんにみられる精神障害。	兼本浩祐	精神神経科
62	Schizophrenia Frontier 12:232-236,2012	【“非定型”な精神病について】 類てんかん精神病。	兼本浩祐	精神神経科
63	臨床神経学 52:1091-1093,2012	臨床てんかん学の最近の診断と治療の最前線 てんかんにともなう精神症状・心因性発作への対処。	兼本浩祐	精神神経科
64	Hybridoma(Larchmt)2012;1:325-32	Evaluation of the asparagine synthetase level in leukemia cells by monoclonal antibodies	Kitoh T	小児科
65	日本臨床 2012;70(増刊号2):731-6	微小残存腫瘍量測定とその意義	鶴澤正仁	小児科
66	臨床血液 2012;53:443-9	本邦における小児Hodgkinリンパ腫157例の後方視的検討—小児がん研究4グループによる調査—	鶴澤正仁	小児科
67	食道・胃静脈瘤 改訂第3版	第三部 門脈圧亢進症の外科的治療の変遷と現況	野浪敏明	消化器外科
68	World Journal of Surgical Oncology	Effect of L-arginine supplement on liver regeneration after partial hepatectomy in rats	Nonami T	消化器外科
69	Surg Innov.	Laparoscopic surgery in the management of hypersplenism and esophagogastric varices: our initial experiences.	Ando K	消化器外科
70	Surgery Today	Stent strut penetration during thoracic endovascular aortic repair:report pf a case	Tadakoshi M	血管外科
71	Annals of Vascular Diseases	Huge Hemangioma in the Chest Mimicking a Breast Tumor:Report of a Case	Tadakoshi M	血管外科
72	Journal of Vascular Surgery	Remodeling of proximal neck angulation after endovascular aneurysm repair	Ishibashi H	血管外科
73	Surgery Today	Partial debranching hybrid stent graft for distal aortic arch aneurysms	Ishibashi H	血管外科
74	静脈学	血栓症合併妊娠における抗凝固療法	山田哲也	血管外科
75	手術	重症虚血肢に対するバイパス術	太田 敬	血管外科
76	日本血管内治療学会誌	外傷性胸部大動脈損傷に対するステントグラフト手術の経験	石橋宏之	血管外科
77	Clin Imaging	18F-fluorodeoxyglucose uptake and apparent diffusion coefficient in lung schwannoma.	Ushiyama T	呼吸器外科
78	肺癌	孤発性結腸転移を来した肺癌肉腫の1例	小林宣隆	呼吸器外科
79	Breast Cancer Res Treat	Impact of real-time virtual sonography, a coordinated sonography and MRI system that uses an image fusion technique, on the sonographic evaluation of MRI-detected lesions of the breast in second-look	中野正吾	乳腺・内分泌外科
80	Ultrasound Med Biol	Real-time virtual sonography, a coordinated sonography and MRI system that uses magnetic navigation, improves the sonographic identification of enhancing lesions on breast MRI.	中野正吾	乳腺・内分泌外科

81	Jpn J Clin Oncol	A case of estrogen receptor positive secretory carcinoma in a 9-Year-old girl with ETV6-NTRK3	萬谷京子	乳腺・内分泌外科
82	Virchows Arch	Loss of heterozygosity on chromosome 16q suggests malignancy in core needle biopsy specimens of intraductal papillary breast lesions.	吉田美和	乳腺・内分泌外科
83	J Pharmacol Sci	Antivasospastic effects of hydroxyfasudil, a rho-kinase inhibitor, after subarachnoid hemorrhage.	高安正和	脳神経外科
84	Nagoya J Med Sci	A spinal epidural hematoma with symptoms mimicking cerebral stroke	高安正和	脳神経外科
85	Neurosci Lett.	Adiponectin activates endothelial nitric oxide synthase through AMPK signaling after subarachnoid	大須賀浩二	脳神経外科
86	Brain Res.	Activation of Ras/MEK/ERK signaling in chronic subdural hematoma outer membranes.	大須賀浩二	脳神経外科
87	Neurosci Lett.	Activation of JAK-STAT3 signaling pathway in chronic subdural hematoma outer membranes.	大須賀浩二	脳神経外科
88	Neurosurg Rev.	Chordomas of the skull base and cervical spine: clinical outcomes associated with a multimodal surgical resection combined with proton-beam	安田宗義	脳神経外科
89	World Neurosurg.	vertebral artery loop—a cause of cervical radiculopathy.	安田宗義	脳神経外科
90	Acta Neurochir (Wien).	Transvertebral anterior key hole foraminotomy without fusion for the cervicothoracic junction.	竹内幹伸	脳神経外科
91	J Thokai Spinal Surg.	Comparative Study of Bone Fusion Rate between Two Kinds of Cages and Two Kinds of Bone Grafts in Posterior Lumbar Interbody Fusion (PLIF).	竹内幹伸	脳神経外科
92	脳外誌	脊椎脊髄術者養成のための手術トレーニング	高安正和	脳神経外科
93	脳神経外科	脊椎インスツルメンテーションの進歩	高安正和	脳神経外科
94	脳外誌	頸椎症に対する前カブローブ—各種手術法の選	高安正和	脳神経外科
95	脳神経外科ジャーナル	脊髄・脊椎手術における術中ナビゲーションの利用	安田宗義	脳神経外科
96	脳外誌	Surgical method for lumbar foraminal stenosis.	竹内幹伸	脳神経外科
97	神経外科速報	頸椎症性神経根症の診断と治療に関する最新情報	竹内幹伸	脳神経外科
98	日本脊髄外科学会機関誌	腰椎椎間孔部病変へのアプローチと手術方法	竹内幹伸	脳神経外科
99	J Neurosurg Spine. 2013 Aug 2. [Epub ahead of print]	Upper cervical cord compression due to a C-1 posterior arch in a patient with ossification of the posterior longitudinal ligament and a kyphotic cervical spine in the protruded-head position.	Takeuchi M	脳神経外科
100	World Neurosurg. 2013 Apr 25. doi:pii: S1878-8750(13)00629-3.	M. Plasmapore-Coated Titanium Cervical Cages Induce More Rapid and complete Bone Fusion After Anterior Cervical Discectomy and Fusion as Compared to Non-Coated Titanium Cages.	Takeuchi M	脳神経外科
101	No Shinkei Geka. 2012 Apr;40(4):319-23.	[Surgical method for lumbar foraminal stenosis].	Takeuchi M	脳神経外科
102	脳神経外科	教訓的症例に学ぶシリーズ「コイル塞栓術後、再出血を来たした破裂前交通動脈瘤の1例から学んだこと、および対応策の検討」	名倉崇弘	脳神経外科
103	脊椎脊髄ジャーナル	腰椎後方除圧手術のトラブルシューティング	安田宗義	脳神経外科
104	NS now神経外傷	頭蓋頸椎移行部の外傷	安田宗義	脳神経外科
105	痛み・しびれの脊椎脊髄外科	Williams spinal sawの応用	安田宗義	脳神経外科
106	痛み・しびれの脊椎脊髄外科	Mist irrigation systemのレビュー	安田宗義	脳神経外科
107	Yonsei Med J. 2012 May 1;53(3):611-7. doi: 10.3349/yml.2012.53.3.611.	Single-stage removal of thoracic dumbbell tumors from a posterior approach only with costotransversectomy.	Wakao N	脊椎脊髄センター
108	Neuroradiology. 2012 April 27. [Epub ahead of print]	Intramedullary gangliocytoma with calcification and multiple intramedullary cysts.	Wakao N	脊椎脊髄センター
109	J Orthop Sci. 2012 Apr 14.	Dumbbell-type hemangiopericytoma in the cervical spine: a case report and review.	Wakao N	脊椎脊髄センター
110	Eur Spine J. 2012 May 12	Primary spinal cord tumors: review of 678 surgically treated patients in Japan. A multicenter study.	Wakao N	脊椎脊髄センター
111	Orthopedics. 2012 Jul 1;35(7):1073-8	Effect of back muscle strength and sagittal spinal imbalance on locomotive syndrome in Japanese men.	Wakao N	脊椎脊髄センター
112	J Orthop Sci. 2012 Jul 13.	Impact of spinal imbalance and back muscle strength on locomotive syndrome in community-living elderly	Wakao N	脊椎脊髄センター
113	J Neurosurg Spine. 2012 Aug 10.	A new criterion for the alarm point for compound muscle action potentials.	Wakao N	脊椎脊髄センター

114	<i>J Spinal Disord Tech. 2012 Aug 18. (ahead of print)</i>	<i>Posterior Surgery for Adolescent Idiopathic Scoliosis With Pedicle Screws and Ultra-high Molecular Weight Polyethylene Tape: Achieving the Ideal Thoracic</i>	Wakao N	脊椎脊髄センター
115	<i>Spine (Phila Pa 1976). 2013 Jan 1;38(1):E21-7.</i>	The cutoff amplitude of transcranial motor-evoked potentials for predicting postoperative motor deficits in thoracic spine surgery.	Wakao N	脊椎脊髄センター
116	<i>Anesthesiology. 2013 Jan;118(1):88-94.</i>	Analysis of the posterior ramus of the lumbar spinal nerve: the structure of the posterior ramus of the	Wakao N	脊椎脊髄センター
117	<i>J Spinal Disord Tech. 2012 Dec 3.</i>	Surgically Treated Cases of Lumbar Spondylolysis and Isthmic Spondylolisthesis: A Multicenter Study.	Wakao N	脊椎脊髄センター
118	<i>Eur Spine J. 2013 Jan 30. (ahead of print)</i>	<i>Bone union rate with autologous iliac bone versus local bone graft in posterior lumbar interbody fusion (PLIF): a multicenter study.</i>	Wakao N	脊椎脊髄センター
119	<i>Eur Spine J. 2013 Feb 23. (ahead of print)</i>	<i>Influence of spinal sagittal alignment, body balance, muscle strength, and physical ability on falling of middle-aged and elderly males.</i>	Wakao N	脊椎脊髄センター
120	<i>Nagoya J Med Sci. 2013 Feb; 75(1-2):47-55.</i>	<i>Impace of back muscle strength and aging on locomotive syndrome in community living Japanese</i>	Wakao N	脊椎脊髄センター
121	Clinical Neuroscience 30: 1179-81(2012.10)	脊椎・脊髄疾患と治療 脊髄障害性疼痛 病態と最近の薬剤治療について	神谷 光広	整形外科
122	骨折 34:383-5(2012.05)	当院における脛骨Pilon骨折の治療成績	村松 由崇	整形外科
123	Hip Joint 38:85-8(2012.08)	進行期、末期股関節症に対する外反骨切り・臼蓋形成術の長期成績 7~25年経過例	廣瀬 士朗	整形外科
124	日本人工関節学会誌 42: 195-6(2012.12)	TKA感染 当科における人工膝関節置換術後感染の検討	北本 和督	整形外科
125	日本人工関節学会誌 42: 105-6(2012.12)	THA脱臼 後方進入によるハイブリッド人工股関節置換術の術後脱臼 予防と骨頭径の選択	廣瀬 士朗	整形外科
126	Journal of Spine Research 3: 694-7(2012.04)	陳旧性第1腰椎圧迫骨折後後彎症による脊髄障害 脊髄障害性疼痛の病態と治療について	藤井 貴朗	整形外科
127	肩関節 36:745-9(2012.08)	腋窩神経障害が主病変と考えられた投球障害肩の治療成績	岩堀 裕介	整形外科
128	Photodermatol Photoimmunol Photomed. 2012 Jun;28(3):142-6.	Comparison of the efficacy of ALA-PDT using an excimer-dye laser (630 nm) and a metal-halide lamp (600 to 740 nm) for treatment of Bowen's disease.	Mizutani K	皮膚科
129	J Dermatol Sci. 2012 Jul;67(1):69-71.	Histological localization of aluminum in topical aluminum chloride treatment for palmar hyperhidrosis.	Yanagishita T	皮膚科
130	Visual Dermatology 11(12); 1276-1277	【こどもとおとなの皮膚病シリーズ(1)ウイルス感染症】(Part1.)ウイルス感染症 (case08)単純疱疹 こども、おとなの初発例 ヘルペス性歯肉口内炎とKaposi水痘様	渡辺 大輔	皮膚科
131	Derma 190;71-78.	皮膚科最新治療のすべて 帯状疱疹後神経痛	渡辺 大輔	皮膚科
132	WHAT'S NEW in 皮膚科学 2012-2013 92-93	帯状疱疹後神経痛のベスト治療は？	渡辺 大輔	皮膚科
133	日本皮膚科学会雑誌 122(13):3656-3658	HPV・HSV・HIV感染症UP Date HSV感染症 Update(性器ヘルペスを中心として)	渡辺 大輔	皮膚科
134	皮膚病診療 34(5):493-499	Botox治療について(解説)	渡辺 大輔	皮膚科
135	皮膚科の臨床 54(10): 1321-1324	【乾癬】インフリキシマブからアダリムマブへの切り替えが著効した関節症性乾癬の1例	木下 裕美	皮膚科
136	日本皮膚病理解組織学会誌 27(2):37-40	外陰部類上皮肉腫の1例	竹尾 友宏	皮膚科
137	日本皮膚科学会雑誌 122(6): 1581-1588	Fabry病に対する長期酵素補充療法の経験 早期治療介入の意義	春日井 親俊	皮膚科
138	皮膚病診療 34(5):437-440	【掌蹠の皮膚病】〈臨床例〉掌蹠多汗症の治療中に診断しえた長島型掌蹠角化症	春日井 親俊	皮膚科
139	日本皮膚病理解組織学会誌 28(1):13-16	軀幹に多発する扁平紅色結節	田中 るい	皮膚科
140	Skin Cancer 27(1):98-101	男性に生じたPigmented mammary Paget's diseaseの1例	水谷 建太郎	皮膚科
141	Skin Cancer 27(1):52-55	5-S-CD高値を示した背部基底細胞癌の1例	小原 勇気	皮膚科
142	Am J Chin Med	Amniotic pocket changes following Wu-Ling-San treatment for gestational edema	Watanabe K	産科婦人科
143	Early Hum Dev	Dexamethasone administration to the neonatal rat results in neurological dysfunction at the juvenile stage even at low doses.	Wakatsuki A	産科婦人科
144	Hypertens Res	Increased oxygen free radical production during pregnancy may impair vascular reactivity in	Watanabe K	産科婦人科

145	J Atheroscler Thromb	Multicenter study to determine the diagnosis criteria of heterozygous familial hypercholesterolemia in	Wakatsuki A	産科婦人科
146	J Atheroscler Thromb	Guidelines for the management of familial hypercholesterolemia.	Wakatsuki A	産科婦人科
147	J Matern Fetal Neonatal Med	Prophylactic administration of melatonin to the mother throughout pregnancy can protect against oxidative cerebral damage in neonatal rats.	Watanabe K	産科婦人科
148	J Matern Fetal Neonatal Med	Increased oxidant generation in the metabolism of hypoxanthine to uric acid and endothelial dysfunction in early-onset and late-onset preeclamptic women.	Watanabe K	産科婦人科
149	J Matern Fetal Neonatal Med	The severity of hypoxic changes and oxidative DNA damage in the placenta of early-onset preeclamptic women and fetal growth restriction.	Kimura C	産科婦人科
150	J Obstet Gynaecol	Maternal and perinatal outcome in pregnancies complicated by uterine cervical prolapse.	Matsushita H.	産科婦人科
151	J Obstet Gynaecol Res	Guidelines for office gynecology in Japan: Japan Society of Obstetrics and Gynecology and Japan Association of Obstetricians and Gynecologists 2011	Noguchi Y	産科婦人科
152	J Obstet Gynaecol Res	Fetal intracranial injuries following motor vehicle accidents with airbag deployment	Matsushita H	産科婦人科
153	日本女性医学学会雑誌	更年期障害の諸症状に対する加味逍遙散、ホルモン補充療法の効果比較 一無作為割付研究の結果よ	若槻明彦	産科婦人科
154	東海産科婦人科学会雑誌	完全寛解に至った卵巣癌Suboptimal手術施行症例の予後因子	大林 幸彦	産科婦人科
155	東海産科婦人科学会雑誌	子宮体癌再発症例の生存予後に関する後方視的解析	岩崎 慶大	産科婦人科
156	東海産科婦人科学会雑誌	外陰部類上皮肉腫の一例	吉田 敦美	産科婦人科
157	癌と化学療法	メスナの投与方法変更によりイホスファミドが起因した排尿障害を回避できた1症例	山本 泰大	薬剤部
158	Case Rep Ophthalmol.	Intravitreal Injection of Bevacizumab to Treat a Macular Edema Caused by Leber's Miliary Aneurysm.	Takeyama M	眼科
159	Ophthal Plast Reconstr Surg.	Dacryocystoscopic Findings of Intracanalicular Punctal Plug Migration With or Without Canaliculitis.	Takahashi Y	眼科
160	Ophthalmic Res.	Comparative analysis of hyaluronan's affinity for antivascular endothelial growth factor agents.	Sugita I	眼科
161	Ophthal Plast Reconstr Surg.	The causative factors or characteristics of the Asian double eyelid: an anatomic study.	Kakizaki H	眼科
162	Orbit.	Preaponeurotic fat advancement for prevention of unexpected higher eyelid crease in upper eyelid-lengthening surgery.	Kakizaki H	眼科
163	Plast Reconstr Surg.	Anatomy of the epicanthal fold.	Kakizaki H	眼科
164	Orbit.	Adenoma of the nonpigmented ciliary epithelium in the phthisic eye.	Takahashi Y	眼科
165	Orbit.	Lacrimal sac septum.	Takahashi Y	眼科
166	Ophthal Plast Reconstr Surg	Horner's muscle contribution to lacrimal sac drainage.	Kakizaki H	眼科
167	Ann Plast Surg.	Inferior oblique muscle origin: horizontal location in relation to ala nasi and its gender difference.	Takahashi Y	眼科
168	Clin Experiment Ophthalmol.	Anatomy of Tenons capsule.	Kakizaki H	眼科
169	Ophthal Plast Reconstr Surg.	Congenital dacryocystocele: comparative findings of dacryocystoscopy and histopathology in a patient.	Kakizaki H	眼科
170	日本老年医学会雑誌	全国高齢難聴者数推計と10年後の年齢別難聴発症率-老化に関する長期縦断疫学研究(NILS-LSA)より	内田育恵	耳鼻咽喉科
171	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌	甲状腺癌の隣接臓器浸潤に対する取り扱い 一解剖学、組織学、分子生物学的指標に基づいて一	小川徹也	耳鼻咽喉科
172	Br J Cancer.	Acquisition of EMT phenotype in the gefitinib-resistant cells of a head and neck squamous cell carcinoma cell line through Akt/GSK3 β /snail	Ogawa T	耳鼻咽喉科
173	Gene	Contribution of complement factor H Y402H polymorphism to sudden sensorineural hearing loss risk and possible interaction with diabetes	Uchida Y	耳鼻咽喉科
174	日本老年医学会雑誌	高齢者の耳垢の頻度と認知機能、聴力との関連	内田育恵	耳鼻咽喉科
175	Auris Nasus Larynx	Lacrimal dacryostenosis with severe facial pain misdiagnosed as trigeminal neuralgia.	Tanigawa T	耳鼻咽喉科
176	Audiology Japan	中高年糖尿病教育入院患者における糖尿病関連要因の聴力への影響	内田育恵	耳鼻咽喉科

177	Otology Japan	中耳機能10年間の推移－老化に関する長期縦断疫学研究より	内田育恵	耳鼻咽喉科
178	Journal of Neurogenetics	Polymorphisms in genes involved in inflammatory pathways in patients with sudden sensorineural	Uchida Y	耳鼻咽喉科
179	耳鼻臨床	巨大な鼻中隔神経鞘腫 一鼻閉、視力障害を主訴に来院した1例－	小川徹也	耳鼻咽喉科
180	Intern Med	Battery ingestion : the importance of careful radiographic assessment	Tanigawa T	耳鼻咽喉科
181	Otology Japan	先天性真珠腫治療のプランニング	植田広海	耳鼻咽喉科
182	Imaging Med	Safety and clinical usefulness of gadoteric acid including post-marketing surveillance	太田豊裕	放射線科
183	Rad Fan	肝動脈化学側線療法における形状付きシースとマイクロバルーンカテーテル	太田豊裕	放射線科
184	cardiovasc intervent radiol	Ethanolamine Oleate Sclerotherapy Combined with Transarterial Embolization Using n-Butyl Cyanoacrylate for Extra-cranial Arteriovenous	北川 晃	放射線科
185	Anesthesia Analgesia	Isoflurane pretreatment preserves adenosine triphosphate-sensitive K ⁺ channel function in the human artery exposed to oxidative stress caused by	Kinoshita H	麻酔科
186	BMC Neuroscience	Bupivacaine-induced apoptosis independency of WDR35 expression in mouse neuroblastoma Neuro2a	Harato M	麻酔科
187	熱傷 38(2):46-51, 2012	小児期に受傷した広範囲熱傷から熱傷瘢痕瘡をきたした1症例	浅井晶子	形成外科
188	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 7(Suppl):S418, 2012	Usage of 3 Dimensional Preoperative Planning and 3 Dimensional Individualized Cutting Device for Maxillofacial Osteotomy	竹市夢二	形成外科
189	J.Plast. Surg. Hand Surg. 46(5):308-12,2012	YAG laser treatment causes rapid degeneration and regeneration of collagen fibres in pig skin and facilitates fibroblast growth	河野鮎子	形成外科
190	Acta Haematol	4G/5G polymorphism of the plasminogen activator inhibitor-1 gene is associated with multiple organ dysfunction in critically ill patients	Huq Aminul	救命救急科
191	ICUとCCU	ドクターヘリは集中治療の実績を上げるか	竹内昭憲	救命救急科
192	日臨救医誌	救命救急士養成教育における重症病態トレーニング実習の試み	青木瑠里	救命救急科
193	Immunol Lett	Flavopiridol inhibits interferon- γ -induced nitric oxide production in mouse vascular endothelial cells	Terashima Tsuguaki	救命救急科
194	Thrombosis Journal	Recombinant human soluble thrombomodulin administration improves sepsis-induced disseminated intravascular coagulation and mortality: a retrospective cohort study	Kato Takahiro	救命救急科
195	Circ J. 2012;76(3):588-9.	Cautions and strategy for treating chronic heart failure by using adaptive servo-ventilation	塩見利明	睡眠科
196	内科	【知っておきたい内科症候群】血液《治療関連合併症》輸血後移植片対宿主病	加藤栄史	輸血部
197	医学のあゆみ	同種血輸血のリスク・同種血輸血と予後 (AYUMI 輸血医療の新展開: Patient Blood Management(患者中心の輸血医療))	加藤栄史	輸血部
198	Int J.Hematol. 2012;96(3):295-300.	Efficacy and safety of human adipose tissue-derived mesenchymal stem cells for supporting hematopoiesis.	中山享之	輸血部
199	Leukemia. 2012;26(10):2269-76.	Mast cells promote the growth of Hodgkin's lymphoma cell tumor by modifying the tumor microenvironment that can be perturbed by bortezomib.	中山享之	輸血部
200	Int J Hematol. 2012;95(4):428-33.	Dexamethasone palmitate successfully attenuates hemophagocytic syndrome after allogeneic stem cell transplantation: macrophage-targeted steroid therapy.	中山享之	輸血部
201	haemovigilance in Japan: a pilot study. 2013 Feb; 48(1): 95-102	Online reporting system for transfusion-related adverse events to enhance recipient haemovigilance in Japan: a pilot study.	加藤栄史	輸血部
202	日本輸血・細胞治療学会誌 59巻 3号 443-449 2013	我が国におけるヘモビジランスの現状と輸血医療における有用性。(総説)	加藤栄史	輸血部
203	Int J Oncol. 2013 Feb;42(2):543-8. Epub 2012 Dec 24.	Systemic transduction of p16INK4A antitumor peptide inhibits the growth of MBT-2 mouse bladder tumor cell line grafts.	吉川和宏	細胞治療センター

204	Int J Urol. 2013 Feb 19. doi: 10.1111/iju.12119.	Effects of the Rho kinase inhibitor, hydroxyfasudil, on bladder dysfunction and inflammation in rats with HCl-induced cystitis.	吉川和宏	細胞治療センター
-----	--	---	------	----------

(様式第12)

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 野浪敏明
管理担当者氏名	医事課 中條孝弘、病院管理課 畑田真宏、地域医療連携課 竹崎武、 薬剤部 長谷川高明、医療安全管理室 高安正和、感染制御部 三嶋廣繁、 臨床工学部 道勇学

	保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記 録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写 真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中 の診療経過の要約及び入院治療計画書	病院事務部 各科外来 薬剤部 中央カルテ室	病歴資料については、一患者一番号 でカルテと一体になっている。外来分 は各科外来、入院分は中央カルテ室 で保管している。
病院 の 管 理 及 び 運 営 に 関 す る 諸 記 録	従業者を明らかにする帳簿	病院管理課
	高度医療の提供の実績	医事課
	高度医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課
	高度医療の研修の実績	病院管理課
	閲覧実績	医療情報管理課
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携課
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部
	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室 医療安全課
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理室
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室	
当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況		
	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部	
	院内感染のための委員会の開催状況	感染制御部	
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	感染制御部	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学部	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 生田芳文
閲覧担当者氏名	医事課長 中條孝弘、病院管理課長 畑田真宏
閲覧の求めに応じる場所	会議室又は医療情報管理課中央カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	56.3%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	18,834人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,451人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,968人	
	D : 初診の患者の数	46,610人	

- (注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 1.安全管理のための基本的な考え方 2.安全管理の体制確保のための委員会 3.医療安全管理室の設置 4.医療安全管理者の設置 5.リスクマネージャーの設置 6.患者相談窓口の設置 7.医療事故発生時の対応方法等 8.安全管理のための職員研修 9.患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容 1.医療の安全管理対策の検討及び推進に関すること。 2.医療の安全管理の情報交換に関すること。 3.医療の安全管理のための教育・研修に関すること。 4.その他医療安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 22 回
・研修の主な内容 1.医療安全講演会(2回) 2.AEDを使用した心肺蘇生法(7回) 3.麻薬・向精神薬の取扱いに関する講習会(1回) 4.胸腔ドレーンの挿入と管理の講習会(1回) 5.エコーを使用したCVカテーテル挿入法(4回) 6.護身術を学ぼう(1回) 7.臨床研修医ガイダンス「当院の医療安全管理体制」(1回) 8.看護職員を対象とした各種医療安全に関わる研修(3回) 9.CVポートに関する研修会(1回)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 1.情報端末による患者基本情報の共有 2.メディカルクリニック(分院)への医療安全管理ラウンドの実施 3.手術室安全チェックリストの導入 4.手術に係る遺残物の確認方法の徹底	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(6 名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(5 名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・所属職員: 専任(6)名 兼任(5)名 ・活動の主な内容 1.医療の安全を確保するための改善方策に関すること。 2.医療安全管理のための職員の教育・啓発に関すること。 3.医療事故発生時の対応に関すること。 4.医療安全管理委員会の円滑な運営に関すること。 5.医療安全管理に関する院内の連絡調整 6.その他医療安全管理に関する業務	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・活動の主な内容 ・麻薬・向精神薬および毒薬の適切な保管管理 ・医療安全のための医薬品適正使用についての講義	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	年 1 回
・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・業務の主な内容 業務手順書の全面改訂を平成25年8月27日付で行った。また、改訂の手順書に基づいてチェックリストを作成し、平成25年8月28日～30日にかけて業務の実施状況についてチェックを行った。業務手順書が遵守できていない業務については、業務の見直し、改善を行っている。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 医薬品に関連する情報は、厚労省、製薬メーカー、PMDAなどより随時入手し、医薬品の安全使用に必要な情報を院内メールを利用して職員へ提供している。薬剤師を医療安全管理室へ兼任で配置し、医薬品に関連した医療過誤の情報収集および対策の立案に関与している。また、院内で使用するマニュアル作成ならびに改訂にも関与している。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 55 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>専任技士対象:体外循環技術教育人工臓器セミナー・透析装置メンテナンス講習会・人工呼吸器点検講習会 医療職員に対する人工呼吸器・除細動器・ロボット手術支援装置・PCPS・IABP使用に関する安全講習</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	休日以外の毎日(機種による)
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・保守点検の主な内容 人工呼吸器定期点検・使用後点検・使用中点検・蘇生バック使用後点検・麻酔器定期点検・マンスリー点検 人工心肺装置使用前点検・PCPS定期点検・IABP使用後点検・除細動装置定期点検・マンスリー点検 AED・マンスリー点検・放射線治療装置定期点検・日常点検・保育器定期点検</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>医薬品医療機器総合機構からのメール配信サービスや医療機器センターのホームページや関係学会からのメールなどで情報を収集し、関係部署や責任者に院内メールにて配信している。</p>	